

【月曜朝会の話より：H260512】



『何でおぎょうぎよくしなきゃいけないの…？』

お早うございます。(おはようございまあす)

早いもので、今の新しい学年、ピカピカの〇年生になって、一月以上が経ちました。

少しずつ新しい学年らしく心も体も成長し、1年生は1年生に、2年生は2年生に、3年生も4年生も、5年生も6年生も、すっかり新しい学年らしくなって、ひとまわり大きくなったように思えます。

これまで、桃五の子全部が「元気に、仲よく、楽しく」すごすために当たり前だけれども大切な約束、「あぶないことはしない・人のいやがることや迷惑になることはしない・そしてきまりは守る」の3つの約束を守りましょう、というお話を何回かしました。

そんな中、挨拶のことや、学校での過ごし方などをよく聞いてくれた6年生がその約束をきちんと守ろうと、一生懸命に我慢したり、努力したりしてがんばっている様子がこのところとてもよく感じられるのです。朝挨拶をしても必ず返事が返ってくるようになりました。それも笑顔で。うれしいですね。声をかけたときこちらを向いて笑顔で返事をしてくれると、私の方までうれしくなってきます。約束やきまりを守ろうとする気持ちは人への思いやりそのものです。この変化は6年生としてとってすばらしいことです。6年生ありがとう。

そこで、今日は以前にも話したことがあります、『何でお行儀よくしなきゃいけないの…？』という話をします。

ずっと前、まだ地下鉄大江戸線に乗って仕事に通っていたころのことです。

電車に乗るといつも同じ車輦に、小学生の兄弟が乗り合わせます。6年生くらいのお姉さんと、ピカピカの2年生の弟君でいつも同じ駅で降ります。

ある朝のこと、いつものようにこの二人の小学生と一緒にになりました。この日は、二人の乗っているすぐ近くに足を放り出して座っている若い学生のような男の人がいました。電車は混んでいましたが、この人の前には人が立てず、まわりの人は迷惑そうな様子でした。

さっきの二人の小学生は、この様子を、目を大きくして黙って見ていました。この子達、一体どんなふうに思っていたのでしょうか。

さて、電車はやがていつもの駅に着き、私もこの小学生二人も電車から降りてエスカレーターに乗りました。すると私の前でこの二人がこんなことを話していました。

「あのお兄ちゃん、お行儀が悪いね。」

「そうね、エチケット違反だね。」

「エチケットって何・・・。」

「ええとね・・・、礼儀とかお行儀とか・・・、みんなと一緒にのとき守らなきゃいけないルールみたいなことよ。」

「どうしてお行儀よくしなきゃいけないのかな、エチケット、礼儀・・・ってなあに。どうして守らなきゃいけないの。」

「ううん、だって迷惑じゃない。さっきだってみんな困っていたでしょ。ちゃんとしていれば誰も迷惑しないけど、エチケット守れないとみんながいやな気分になるでしょ。だから・・・、そう、そうだ、エチケットって自分だけじゃなくて、自分も人も気持ちよくすごすためにあるんだよ！」

へえ、そうか。聞いていた私もよくわかりました。お姉さんの言う通りでした。そう、そうなんですよ、周りの人の身になって、思いやりをもって行動すること、『**自分も人も気持ちよく過ごせるようにすること**』それが、エチケット、みんなのルールなんだね。

小学生のお姉さんの言葉に、大人の私が思わずうなずいてしまいました。同じ電車から降りてエスカレーターに乗った人達も、小学生の二人を見て笑顔でうなずいていました。

さて、桃五の皆さんはどうですか。自分だけ気分よくて、人にはいやな思いさせていませんか。ちょっと周りの人の身になって考えてみると、気をつけなければいけないことがたくさんありそうですよ・・・。

朝皆さんが登校するころ、桃五小の前の道をよくおじいさんが自転車で通ります。ちょっとゆっくり走っています。そんなおじいさんは、桃五の皆さんが道路いっぱい歩いているので、今朝もよけようとしてふらふら・・・。とても心配です。気づいていますか。

学校の中でも思いっきり走り回って、1年生や、けがでもしている人にぶつかったら・・・、とても心配だなあと思うことがたくさんあります。

お教室の中でも、先生の話の間を聞こうと、10分も20分もずっとお行儀よく待っている子がいるのに、そんなことに気がつかないで、席を立ったり大声でしゃべってしまったりして人を待たせてしまっている、そんな覚えはありませんか・・・。

約束、ルール、エチケット。「自分も人も気持ちよく過ごせるように・・・。」

そんなふうにちょっとだけ自分以外の人のことも考えられるようになると、もっともっとすてきな桃五小になるね。

さてさて、皆さん、エチケット守れていますか。

